

# 上峰中学校道徳授業構想シート

月 日( ) 年 組

## ◆主題名

国際社会の一員

### 内容項目

C-(18) 国際理解・国際貢献

### 教材名・出典

海と空—樫野の人々—

### 本時のねらい

生徒の実態を把握するために必要なアンケートの内容

Link

中心となる発問を主題とつなげるために、どんな発問をしておけばよいだろうか。

①トルコ政府はなぜ、日本のために救援機を出したのだろうか。

②樫野の人々はなぜエルトゥールル号の乗組員を救助したのだろうか。

## ◆テーマ

(中心となる発問)

トルコと日本の人々を動かしたものは何だろう

ねらいとする価値に迫るために

なぜ学び合う活動をさせるのか、その意図を明確に。

## ◆学び合う活動のねらい

変容をねらう 多様さに気付かせる 自分の考えを深めたり広げたりする

その他( )

学び合う活動のねらいを達成するための手立て

1 心情円盤 2 ネームプレート 3 付箋紙 4 心のものさし 5 ICT 6 その他

学び合う活動のスタイル

1 フリー( ) 2 ペア 3 グループ 4 その他

## ◆最後の振り返り

この時間を通しての「本音」が聞けるように！

### 【授業後の反省】

導入でゆるキャラを用いたことにより、トルコと樫野のつながりについて子どもたちが関心を持つことができたと思う。また、一つ目の発問の前の状況説明をある程度詳しく行ったため、子どもたちがしっかり発問について考えることができたと思う。

二つ目の発問についての子どもの考えを問い返しながら深めていく際に、「日本人のプライド」、「誇り」といった発言が出てきたので、国際社会に生きる者としての自覚を少なからず持つことができたと思う。

しかしながら、中心発問後のまとめが時間の都合で、駆け足になってしまったうえに、「国際理解」というキーワードを子どもたちから出すために発言を掘り下げることができず、教師側の説明のみで終わってしまった。そのため、掘り下げる時間をもっと確保するべきであったと考える。